



れんげそう

令和7年8月27日
福生第五小学校
学校通信第577号

平和

校長 泉田 巧人

長い夏休みも終わり、学校には子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。夏休み期間中、子どもたちの健康や安全、学習等を支えていただいたことで、大きな事故もなく夏休みを終えることができたことを、保護者の皆様方に感謝申し上げます。9月16日(火)・17日(水)には、第5学年の「名栗自然教室」が実施されます。名栗自然教室では、小中一貫教育及び三中校区連携で、福生第七小学校と同日開催して、一部の活動を合同で行うという新たな試みを行います。いつもと違う環境の中で、様々な経験や学びを通して大きく成長するように期待しています。



読書リーダーが選んだ戦争と平和を考える本
(平和のつどい 福生市民会館)

さて、今年の夏は、終戦80年の節目となりました。私は、8月17日(日)に福生市で開催された「平和のつどい」に参加しました。戦時中の様々な品や写真が展示され、当時の様子をうかがうことができました。そして、各学校の読書リーダーが選んだ「戦争と平和を考える本」が展示されていました。本校の読書リーダーの児童が選んだ本も展示されており、児童のコメントには、戦争について考え平和への思いが込められていました。また、市内在住で、戦時期を含む幼少期の体験を聞くこともできました。戦争は、人々の平和を簡単に奪ってしまいます。現代社会において、私たちにとって身近でない戦争の悲惨さをいかに若い世代に引き継いでいくかを考えていかなければならないと感じました。それと同時に、様々なものが進歩し、便利になり、情報や物資にあふれ、急速に変化する現代社会で生きていかなければならない子どもたちにとっての真の平和とはどのようなものなのかを考えました。物や環境が豊かであっても、様々な不安を抱えている子どももいると思います。子どもたちの真の平和とは、物の豊かさや環境の豊かさだけでなく、安心して暮らせる子どもたち自身の心の豊かさも大切だと考えます。

自分のことを大切にできる心、他者に対する優しく思いやりのある心、平和な社会を続けていこうとする正しい判断力等を身に付けられるよう、2学期の学校生活で引き続き「やさしい学校～思いやり大作戦～」が子どもたちに浸透するよう指導していきます。

子どもたち全員が、平和な学校生活を送ることができるよう教職員一同、一生懸命に子どもたちを支えてまいります。そして、平和な家庭生活を送ることができるよう家庭、地域の皆様の御協力をどうぞお願いいたします。